



基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		作業場にはオイルフェンスを張り、廃油の流出防止に取り組んでいる。 ・船舶解体時に発生する廃油については業者に回収を依頼し、適切に処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所についてはLED照明を採用し、節電に取り組んでいる。 ・【予定】2026年9月より簡易計算シート等を用いて自社のエネルギー量を把握する。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車にHV車を導入し、燃料消費の抑制とCO2排出量の削減を図り、環境負荷の軽減に取り組んでいる。 ・【予定】2026年9月より簡易計算シート等を用いて自社の温室効果ガスの排出量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・作業場にはオイルフェンスを張り、廃油の流出防止に取り組んでいる。 ・中和剤を常備し、廃油流失の際には適切に対応できる体制を構築している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・本業にて船舶解体を行い、鉄・非鉄金属を中心としてリサイクルに取り組んでいる。 ・土木工事の材料仕入れの際には廃棄物が発生しないよう、適正量の仕入れを行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・船舶解体時に油漏れが発生しないよう、解体手順を遵守している。 ・河川工事実施時には土嚢にて河川の塞ぎ止めを行い、工事による汚染防止に取り組んでいる。 ・事務所での節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生材を使用した製品の活用や、環境負荷の少ない製品を優先的に選ぶグリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所敷地には樹木の植栽を行い、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・再生エネルギーを活用した掲示板、矢印版、チューブライト、赤色ライト等の機器を積極的に使用している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・地元の千蔵山の森林整備活動に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・現場での飲料水は水平リサイクル率の高い、アルミ缶を使用し、ペットボトルの利用削減に貢献している。													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4				13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

